

収入之部

月次科目	會費	入會金	手帳代	臨時収入	雑収入	合計
大正拾四年十月	六七〇・二八			五〇〇・〇〇	四三九	七二五・四七
十一月	八七〇・九二			八五〇・〇〇	六〇〇	九六一・九二
十二月	四二〇・九六					四二〇・九六
小計(拾四年)	七二一・七七					七二一・七七
一月	三八八・〇七				二〇〇	三九〇・〇七
二月	三五九・八〇				五〇	三五八・三〇
三月	八九〇・〇三	一九六・〇		三四六	二三五	九一八・〇六
四月	五六三・三〇	一七二・〇		一〇〇・〇	八三八	五九九・七八
五月	四九三・〇〇	五一四・五		三三〇・〇	五八九	五八二・三四
六月	二九四・三〇	三六三・〇			六三六	三三六・九六
七月	五六三・二二	二四二・五		二二六・六	四七三・七	六〇一・五三
合計	五六三・二二	一三四・五		二二六・六	四七三・七	六〇一・五三
平均	五六三・二二	一三四・五		二二六・六	四七三・七	六〇一・五三

會計一覽表

自大正拾四年拾月  
至大正拾四年七月

貸借表

貸借表 一七〇・五五

借本部、二四三・九五

印刷屋 五〇・〇

差引金額 八七六・六〇

次年度繰入金 四〇・九一〇

計 一三九五・七〇

によつて各組合に於ける會計事務方法も一定様式に成し得るに共に不幸にして収監専ら爲り會計の不在、場合も直ちに代理を以つて事務も進行し、運動をしていゝ、かの支障を起さざる時代を来すべし事か虞に之れ會計會議の使命である。

今